

上手にお使いいただくために

●お取り扱いにあたっての注意事項

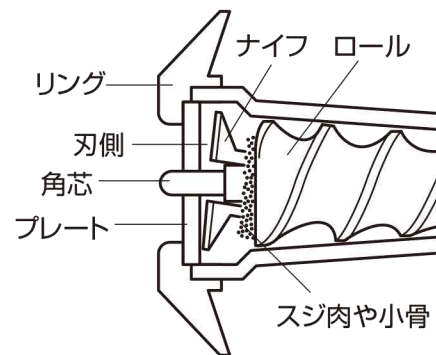
- 1 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが「OFF」になっているか必ず確認してください。
- 2 もし固いものが入りロールが止まってしまった時は、すぐスイッチを切り、固いものを取り除いてください。
- 3 モーターおよびギアボックスは、絶対に水につけたり水をかけないでください。
- 4 ギアボックスやベッドを清掃される時は、うすい洗剤液をしぼった布でふいてください。
- 5 シンナーやベンジン・アルコール等をご使用にならないでください。
- 6 本体部を組み立てたり分解したりする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
- 7 食物をひく以外にご使用にならないでください。また固い食材（乾燥した豆や軟骨等）や穀物等もひくことができません。ナイフやプレートを破損させる恐れがあります。
- 8 絶対に本体の投入口やプレートの穴に指を入れないでください。特にお子様にはご注意ください。
- 9 保管時は、湿度の高いところをさけてください。

正しい使い方と注意

- 1 材料はモーターを始動させてから入れてください。
- 2 モーターは始動時に相当な力を要します。作動させる前に一度に多量の材料を押し込むとモーターに負担がかかり、故障の原因となります。適量な分量に分けてご使用ください。
- 3 食材を投入する際は大変危険を伴いますので、必ず付属の押棒をご利用願います。手では絶対押し込まないよう注意してください。
- 4 本体には通常3.2mm穴のプレートをセットしてありますが、ご使用になる材料により適当な目のプレート（オプション）にお取り替えください（10ページ参照）。
- 5 長時間ご使用になって、ナイフ・プレートの研磨面がすり減って切れ味が悪くなってきた場合は、新品と交換するか研ぎ直してご使用ください。研ぎ直しはボニーで承ります（有償）。ナイフ・プレートの研ぎ直しは同時にされることをおすすめします。
- 6 安全ガードは絶対に取り外さないでください。

ご使用中、こんな状態になったら

●ご使用中に処理量が急に少なくなったら



モーターを止めてコンセントから電源プラグを抜いた後、リングを外しプレートとナイフを取り出してください。ナイフとロールの間に、スジ肉や魚の皮・小骨等が入り込み、ナイフが傾いた状態でプレートと接し、切れなくなるのが最大の原因です。ロール前面（角芯部周辺）にまとわり付いたものを取り除くことにより解消されます（必ず保護具を着用すること）。

- スイッチを入れてもモーターが動かない場合、まずブレードが作動していないかをご確認ください（ブレードの復帰方法は9ページを参照）。



ご使用後のお手入れ

- お手入れは必ずスイッチを「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いておこなってください。
- また必ずゴム手袋等の保護具を着用してください。

1 よく洗い、乾燥させる

ご使用後はギアボックスから本体部（①～⑦）をはずして洗剤等でよく洗い、汚れや油気を落とします。そして、乾いた布でよく拭いて水気を完全にとってください（自然乾燥はサビの原因になりますのでやめてください）。プレートの目穴に詰まったものは、ブラシ等で取り除くか煮沸していただくと取れやすくなります。

2 食用油をひく

サビを防ぐためにプレートとナイフに食用油（植物性のもの）をうすくひいて保管してください。

ギアボックスおよびモーター部分には絶対に水をかけて洗わないようご注意ください（ショートや感電の恐れがあり、また故障の原因にもなります）。

